

◇十連寺徳本行者六字名号供養塔（所在地／上尾市大字今泉156番地）

肩丸角柱形で基壇風の泥石を敷いて基壇を据え、上端に反花を現す基礎を置き、敷茄子を挟み請花座に塔身を立てる。六柱形の塔身正面に、徳本独特の六字名号を陰刻し、そのすぐ下に「徳本（花押）」とある。紀年銘の文化十四年（1817）は、「徳本行者全集」にみられる「文化十四年十一月十二日に名号開眼」に符合する。

施主は村単位の講中で、記された人数を加えてみると周辺地域20宿村570人に達する。徳本に帰依する者の非常に多かったことを知ることのできる貴重な資料である。

法量（センチ）

総高	200.0				
下層基壇高	13.0	幅	105.5	奥行	88.5
上層基壇高	20.5	幅	83.0	奥行	66.5
基礎高	31.5	幅	60.7	奥行	47.8
敷茄子高	11.0	幅	41.0	奥行	28.8
請花座高	17.5	幅	55.0	奥行	38.0
塔身高	106.5	幅	36.5	奥行	22.5

